

**第1回大阪府中央卸売市場運営取引業務協議会  
市場あり方検討委員会 議事要旨**

- 1 日 時 令和2年9月25日(金) 7時30分～9時30分
- 2 場 所 大阪府中央卸売市場管理棟7階 大会議室
- 3 出席者 委 員：3名(小野委員長、多田委員、森委員)  
事務局等：大阪府中央卸売市場 5名  
株式会社流通研究所 2名(調査業務受託会社)
- 4 議 題 (1) 委員長、委員長代理の選出について  
(2) 大阪府中央卸売市場の将来のあり方について

5 議事内容

**(1) 委員長、委員長代理の選出について**

- ・委員長は、運営要領第3条第4項の規程により、互選の結果、小野委員に決定した。
- ・委員長代理は、運営要領第3条第5項により、小野委員長が森委員を指名した。

**(2) 大阪府中央卸売市場の将来のあり方について**

- ・事務局等から「大阪府中央卸売市場の将来のあり方検討 受託調査 中間とりまとめ(案)」について説明した。【資料3】参照

**《委員からの主な意見》**

- 府市場における競合相手はどこ(例：他市場、食品加工や配送等の市場外事業者など)が想定されるかを明確にすべき。その上で、府市場にどのような機能(ハード・ソフト)が必要であるか戦略的に検討すべき。
- 本市場の立ち位置を明らかにすべき。全国共通の課題と本市場の課題の相違などの分析が必要ではないか。その上で、全国の中での立ち位置、近畿の中での立ち位置はどうあるべきかといった分析が必要。その結果、本市場にはこういった機能が必要という検討がなされるべき。
- 以前はセリが中心でバイヤーが多く市場内を訪れていたが、現在は全体取扱量の1割程度しかセリにかけられていないとのこと。市場の役割も変化しており、そういった観点からICTやIoT技術の導入も含めた機能強化や再整備を検討すべき。
- 環境配慮型の市場をめざすことも他市場に対して優位性をアピールできるのではないか。電力は燃料電池を導入しているとのことだが、(再生エネルギー使用や廃棄物低減など)環境に配慮した取り組みを進める市場を検討してはどうか。
- 市場はIT化が遅れている。場内事業者の合意は難しいかもしれないが、統一的なシステム(プラットフォーム)の構築は必要。国もIT化を進めようとしており、業務の効率化による生産性の向上にもつながる。
- 府市場は、敷地が広大であり交通の利便性も高いことが強みである。これらの強みを最大限発揮できるような市場のあり方、活性化の観点から、市場のあり方を検討していくべき。